

空家の実態調査について

R4.10.19

【概要】

第 2 期富士見市空家等対策計画を策定するにあたり、平成 29 年の空家の実態調査と同様に水道の閉栓情報を基に、目視による市内全域の空家の実態調査及び、所有者へのアンケートによる意向調査を行う。

【調査対象の精査方法】

①: 水道課提供情報

令和 4 年 1 月 21 日時点の市内の水道の閉栓情報を水道課より情報提供してもらい、7,947 件が閉栓された状態と判明。

②: 担当課にて精査

空家管理システムの住宅地図と突合させて、水道情報より空家と想定される住宅を確認。過去の苦情相談等により、既に空家と確知している住宅と突合し調査先を選定、約 2,300 戸を調査対象とした。

③: 委託業者にて再度精査

②のデータを委託業者により、住宅地図・地番図・GoogleMap で確認し再度精査、1,926 件を調査対象とした。

④: 委託業者が目視にて現地調査

1,926 件を目視にて調査した結果、638 件が明らかに空家であり、141 件が空家と疑わしいものであった。

⑤: 意向調査

638+141=779 件の空家の所有者にアンケートを送付し、空家についての意向を調査する。回答期間を 2 週間として集計を行う。
※期限後の回答もバックデータとして管理し適正管理等に活用する。